

## 用途

発売以来 35 年、天然成分だけで造られたクラシックベースワックス。  
無塗装のフローリングや家具を安全に保護します。粘度が低いため  
塗りやすいのが特徴です。(屋内専用・2度塗り推奨)



## 使用方法 + 注意事項

- ・よくかき混ぜてから原液で使用します。事前に目立たない場所でテストしてください。
- ・作業の際はワックスが眼や皮膚に触れないように保護してください。
- ・本製品は無塗装の木材専用のワックスです。フローリングや家具に最適です。  
塗装がされていても浸透性(吸水性)があれば多くの場合使用可能ですが  
事前にテスト施工を行い確認をしてください。浸透性のない塗膜形成型の  
塗料(例:ウレタン・ペンキ・ラッカー・ニス等)の塗装面には使用できません。
- ・推奨作業環境は気温 10 ~ 30℃、湿度 85%以下、木材含水率 15% 以下です。
- ・塗装前、塗装面がザラつく場合はサンドペーパーで平滑に整えてください。  
また土や砂、ホコリ、樹脂、削りカス、その他汚れをきれいに取り除き、乾燥した状態にしましょう。
- ・ハケやローラーを使い木材にしっかりワックスを浸透させながら塗布し、5 ~ 10 分が経過したところから順次ワックスをきれいに拭き取って  
ください。過剰に付着したワックスを放置すると長期間ベタつきます。必ず入念に拭き取ってください。
- ・本製品は酸素と結合することにより乾燥(硬化)します。全ての工程で換気を行い、蒸気(溶剤臭)を長時間吸わないようにしてください。  
また塗装から乾燥にかけては直射日光や水分、埃等に晒さないでください。
- ・乾燥時間は 24 時間です。(重ね塗りする際も同様・低温または高温の場合は乾燥時間が延びます)
- ・保管は確実に密栓し子供や認知症の方などの手の届かない冷暗所にて。(作業中も要注意)
- ・ワックスが付着した塗装用具(刷毛、ローラー、布、新聞紙、その他ゴミ等)は、成分の酸化熱により自然発火の危険性があるため  
放置せず、水に浸してからビニール袋に入れ空気を抜き封をして保管してください。その後可燃物として早めに廃棄してください。
- ・作業中は火気を使用しないでください。熱・火花・火炎・酸化剤から離れた所に保管してください。【第二石油類 危険等級Ⅲ】
- ・低温下で保管しますと一部の成分がゼリー状になる場合があります。陽に晒すなどし、少し温めてからご使用ください。
- ・品質保持期限はご購入いただいてから 2 年間です。

## メンテナンス

- ・Nr.431 または Nr.680 を使い、2 週間に 1 回のペースで床を拭き掃除していただきますと、ワックスの効果が長持ちします。
- ・使用環境にもよりますが、5 年以上が経過したら床の状態を確認し、必要に応じて Nr.128 または 129 を再塗布してください。
- ・常時水の影響を受けるところ(キッチン、脱衣所、洗面所等)には、本製品施工後、Nr.171(ハードワックス)を上塗りすることで格段に撥水性を高めることができます。

## 手順



### 1 「マスキング」

ワックスが必要な部分と不要な部分の境目にテープやビニールを貼り、不要な部分にワックスが付着しないようにします。



### 2 「塗装・拭き取り」

ハケ・ローラー・コテバケで塗装を行います。ワックスを木材にしっかり浸透させます。塗布して 5 ~ 10 分後拭き取り作業を行ってください。



### 3 「2度塗り目」

本製品は2度塗りが必要な商品です。1度目の塗装から 24 時間が経過したら、もう一度、塗装と拭き取りを行ってください。